

令和2年7月豪雨から1年 営業再開へ

「多くの人の励ましでここまで頑張れた」

熊本県人吉市・上村うなぎ

九州を中心に甚大な被害をもたらした令和2年7月豪雨から1年。特に熊本県人吉市では7月3日から4日にかけて降り続いた大雨で球磨川やその支流が氾濫し、多くの寺院や門信徒が被災した。6月14日、人吉市内の中心部にある商店街の一角に店を構えるうなぎ店「上村うなぎ」3代目の上村由紀穂さん(71)、人吉別院門徒と妻の恵子さん(69)を訪ねた。水害で3階建ての店は2階まで浸水。水害以来営業を中止する中、店の再開に向けて前を向く上村さん夫妻の1年の苦悩や歩みを聞いた(写真下)。

上村うなぎは創業13年の老舗。包丁で丁寧にうなぎをさばり、炭火でじっくり焼きあげる調理法を創業当初から受け継ぎ、多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

13年の老舗。包丁で丁寧にうなぎをさばり、炭火でじっくり焼きあげる調理法を創業当初から受け継ぎ、多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

「多岐にわたる人気店だった。昨年7月3日も翌日分などのうなぎ100きを任入れて店を開けていた。店を終えた後、雨で、近くの山田川が4日朝に氾濫した。前6時頃、急いで店に向かい、水に浸からないようにと食器を片付けようとしたら扉を突き破って水が入ってきた。すぐ2階に避難したが、水が押し寄せて

が進む(写真上)。恵子さんは「災害後に様子を見に来てくれた別院の方や片付けを手伝ってくれたボランティア、手紙や物資を送ってくれたお客さんの存在がありがたく、失ったものは多いが、人の温もりやありがたみを強く感じた。もらった手紙は、再開後に店に飾りたい」。

由紀穂さんは「1年は長く、精神的にまいっていたが、多くの人の励ましでここまで頑張れた。うなぎは何十年と毎日作ってきたから何とかなる。おいし

いうなぎを作って恩返前を向いていた。しをしていきたい」と

(8面に関連記事)

支援拠点となった人吉別院

7月4日に1周年追悼法要

熊本教区、県仏教会の共催

人吉別院(熊本県人吉市)は、本堂が床下浸水などの被害を受け、400軒近くの門信徒が家屋の全壊や床上浸水、5人が亡くな

る被害を受けた。別院では、災害後に飲料水や日用品、高圧洗浄機などを被災した人に提供するなど、被災者支援の拠点となっ

た。別院職員は「生活を再建できた人もいるが、仮設住宅で暮らす方は多く、建物は解体され、地が増えている。別院としてできることを考えていかなければ」と話した。

別院で7月4日午後2時から、令和2年7月豪雨物故者1周年追悼法要が営まれる。



現在、店では7月中旬の営業再開に向け工

